

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

- ・製品名：蒸留水添加液
- ・製品コード：220006
- ・供給者の会社名称：株式会社エイアンドティー  
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1  
電話番号 0466-86-8660
- ・問い合わせ先：株式会社エイアンドティー カスタマーサポートセンター  
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1  
電話番号 0120-487-030
- ・推奨用途：電解質分析装置及びグルコース分析装置などで使用する蒸留水添加液
- ・使用上の制限：所定用途以外に使用しないこと

## 2. 危険有害性の要約

## 製品のGHS分類

## 環境に対する有害性

- ・水生環境有害性 短期（急性）：区分3
- ・水生環境有害性 長期（慢性）：区分3

## GHSラベル要素

- 絵表示又はシンボル：該当なし
- 注意喚起語：該当なし
- 危険有害性情報：長期継続的影響により水生生物に有害

- 注意書き【安全対策】：環境への放出を避けること。
- 【応急措置】：該当なし
- 【廃棄】：内容物/容器を市区都道府県の規則に従って廃棄すること。

国/地域情報：情報なし

## 3. 組成及び成分情報

- ・化学物質・混合物の区別：混合物
- ・製品名：蒸留水添加液
- ・内容物：100mL × 1 本
- ・成分及び含有量  
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル  
：10 w/w%未満
- ・化学物質を特定できる一般的な番号  
：CAS 番号 9002-93-1
- ・官報公示整理番号：化審法化学物質 7-172

## 4. 応急措置

- ・吸入した場合：呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水で最低 15 分間洗浄すること。  
異常があれば医師の診断を受けること。
- ・眼に入った場合：多量の水で最低 15 分間洗浄すること。洗浄の際、指でまぶたをよく開いて十分水が行きわたるように洗浄すること。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。
- ・予想される急性症状及び遅発性症状  
急性症状：データなし  
遅発性症状：データなし
- ・最も重要な兆候及び症状：データなし

## 5. 火災時の措置

- ・適切な消火剤：粉末消火薬剤、水噴霧、泡消火薬剤、二酸化炭素
- ・使ってはならない消火剤：データなし
- ・火災時の特有の危険有害性：加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。  
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- ・特有の消火方法：データなし

- ・消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置  
：空気呼吸器など適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置  
：作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。  
換気をよくして、蒸気の吸入を避ける。
- ・環境に対する注意事項  
：河川等に排出されないように注意する。
- ・回収、中和  
：漏洩した製品を布切れに吸収させて、密閉できる容器に回収する。  
汚染された廃棄物の処理にあたっては、該当する法規、条例、規定等に従って適切に処理すること。
- ・封じ込め及び浄化の方法及び機材  
：危険でなければ漏れを止める。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い  
技術的対策  
：作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。  
安全取扱注意事項  
：換気の良い場所で取扱うこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
吸入又は飲み込まないこと。  
眼の中に入れていないこと。  
取扱い後は、手を洗うこと。
- ・接触回避  
衛生対策  
：（10. 安定性及び反応性の項を参照）  
：取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・保管  
安全な保管条件  
：直射日光を避け、ボトルを密栓して、5-35℃で保存する。  
安全な容器包装材料  
：包装、容器の規制はないが、密閉式の破損しないものに入れる。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- ・許容濃度等  
：データなし
- ・設備対策  
：特別な換気要求事項はない。
- ・保護具  
呼吸用保護具  
：保護マスクを着用すること。  
手の保護具  
：不浸透性保護手袋を着用すること。  
眼、顔面の保護具  
：側板付保護眼鏡、必要によりゴーグル型保護眼鏡を着用すること。  
皮膚及び身体の保護具  
：長袖保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

- ・物理状態  
：液体
- ・色  
：無色透明
- ・臭い  
：データなし
- ・融点／凝固点  
：データなし
- ・沸点又は初留点及び沸点範囲  
：データなし
- ・可燃性  
：データなし
- ・爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界  
：データなし
- ・引火点  
：データなし
- ・自然発火点  
：データなし
- ・分解温度  
：データなし
- ・pH  
：データなし
- ・動粘性率  
：データなし
- ・溶解度  
：水と自由に混和する
- ・n-オクタノール／水分配係数(log 値)  
：データなし
- ・蒸気圧  
：データなし
- ・密度及び／又は相対密度  
：データなし
- ・相対ガス密度  
：データなし
- ・粒子特性  
：データなし

## 10. 安定性及び反応性

- ・反応性  
：データなし
- ・化学的安定性  
：データなし
- ・危険有害反応可能性  
：データなし
- ・避けるべき条件  
：データなし
- ・混触危険物質  
：データなし
- ・危険有害な分解生成物  
：データなし

### 11. 有害性情報

- ・急性毒性  
急性毒性（経口）  
：分類できない。  
急性毒性（経皮）  
：分類できない。
- ・皮膚腐食性／刺激性  
：分類できない。
- ・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性  
：以下の区分の眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性の物質を含む。

区分2A；ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル(10 w/w% 未満)  
混合物として眼に対する重篤な損傷性／刺激性は区分に該当しない。

- ・呼吸器感受性又は皮膚感受性
  - 呼吸器感受性 : 分類できない。
  - 皮膚感受性 : 分類できない。
- ・生殖細胞変異原性 : 分類できない。
- ・発がん性 : 分類できない。
- ・生殖毒性 : 分類できない。
- ・特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 分類できない。
- ・特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 分類できない。
- ・誤えん有害性 : 分類できない。

## 1.2. 環境影響情報

- ・生態毒性 : 当該物質の主な水生環境有害性 (急性) 成分  
急性区分2；ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル(10 w/w% 未満) 10 として計算  
M：毒性乗率  
急性3  $(M \times 100 \times \text{急性}1) + (10 \times \text{急性}2) + \text{急性}3$   
 $= (1 \times 100 \times 0) + (10 \times 10) + 0 = 100 > 25\%$   
→急性3に区分される。  
混合物は、水生環境有害性区分3に分類される (JIS 分類による)。  
環境への放出を避けること。  
当該物質の主な水生環境有害性 (慢性) 成分  
慢性区分2；ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル(10 w/w% 未満) 10 として計算  
M：毒性乗率  
慢性3  $(M \times 100 \times \text{慢性}1) + (10 \times \text{慢性}2) + \text{慢性}3$   
 $= (1 \times 100 \times 0) + (10 \times 10) + 0 = 100 > 25\%$   
→慢性3に区分される。  
混合物は、水生環境有害性区分3に分類される (JIS 分類による)。  
環境への放出を避けること。
- ・残留性・分解性 : データなし
- ・生体蓄積性 : データなし
- ・土壌中への移動性 : データなし
- ・オゾン層への有害性 : 分類できない。

## 1.3. 廃棄上の注意

- ・残余廃棄物 : 廃棄物の処理にあたっては、該当する法規、条例、規定等に従って適切に処理すること。
- ・化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 1.4. 輸送上の注意

- ・特別の安全対策 : 運搬に際しては内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷が生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に進行。
- ・国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

## 1.5. 適用法令

- ・該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報
  - 毒物及び劇物取締法 : 非該当
  - 医薬品医療機器等法 : 非該当
  - 労働安全衛生法 : 非該当
  - 化学物質排出把握管理促進法 : 第一種指定化学物質

## 1.6. その他の情報

### 引用文献

- 1) 14906 の化学商品 化学工業日報社 (2006)
- 2) 国際化学物質安全性カード(ICSC) 日本語版 化学工業日報社

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成していますので、新しい知見によって改訂されることがあります。  
記載の注意事項は通常取扱いを対象とした情報提供であり、必ずしも安全性を保障するものではありません。